

団参・W降誕会・御消息・講中説明会・茶話会等ご報告、上期収納会・建設委員会等ご案内

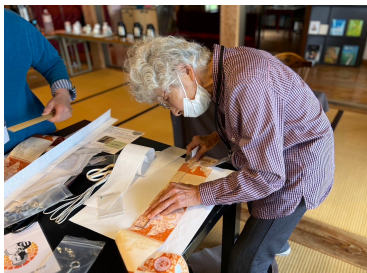
新しい年度が始まったかと思うと、瞬きする間に梅雨入りを迎え、蛍の様子が気になります。

4月、タブラ（インドの太鼓）奏者のU-zhaanさん、シタール（インドの弦楽器）奏者の石濱匡雄さんをお招きした初の試み「なんもない夜座」は、諸縁の方が大勢お運びくださり大盛況となりました。毎月の茶話会では、法要の正装である門徒式章や、お念珠を自作する会を実施。この世でたった一つの尊い法具が多数誕生しました。慶讃法要（親鸞聖人御生誕850年・立教改宗800年）にお参りする団体参拝では、下川東組総勢48名が西本願寺へ。5月、例年通りお釈迦さまと親鸞聖人のお誕生を同時にお祝いするW降誕会と共に、元中通組蠟燭講御消息披露法要が勤まりました。久々にお同行とご一緒する、有難いご縁。住職のカンボジア出張報告もこっそり展示。また、新講中さんの顔合わせと門徒会や明行寺の現状をご説明する会では、本堂大屋根の改修に向けて田中建設（みやま市瀬高町）の田中健治社長より詳細な調査報告をいただき、各地域の講中方を中心とした建設委員会の発足と第1回会議の日程を決めました。

6、7月は上期門徒会費収納会、茶話会「喫茶去・明行寺」の書道や将棋の会を別紙にてご案内しておりますので、ご高覧くださいませ。初（久々？）の小学生を対象としたサマーキャンプ、草刈り等もごございます。天候や体調に心配が増える季節です。声をかけあいながら、無理せず参りましょう。



本堂に満ちるインドの調べ



みかん色の式章作りに挑戦



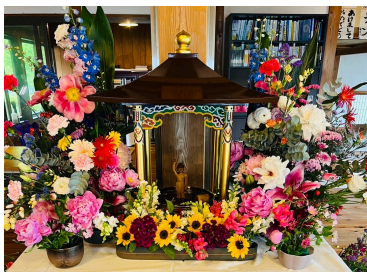
完成したmyお念珠で合掌



お取り寄せアップルパイ



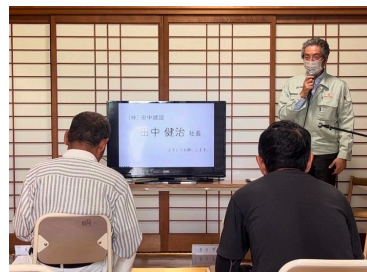
明行寺からは11名が本山へ



今年もお蔭様の花御堂！



久々に賑やかな御消息披露



本堂屋根雨漏りの調査報告

<6~7月の予定>

- 【実施】** 6月10日（土）13時～ 御消息披露法要 @浄弘寺 *役員方と住職でお参りします
- 【実施】** 6月12日（月）15時～ 第15坊守福山薫四十九日満中陰法要 @明行寺 *明行寺親族でお勧めします
- 【実施】** 6月19日（月）10時～ 上期門徒会費収納会・役員会議 @明行寺（講中、役員）
16時～ 第1回建設委員会会議 @明行寺（講中、建設委員、役員） *参加希望者はお知らせください
- 【実施】** 6月21日（水）14時～ 茶話会「喫茶去・明行寺」vol.19 @明行寺 *お申込期限：6/18（日）
- 【実施】** 7月8日（土）13時半～ 御消息披露法要 @西楽寺 *役員方と住職でお参りします
- 【実施】** 7月15日（土）8時半～ 仏教若婦人会研修会 @傳敬寺 *蓮華の会会員はどなたでもご参加可能です。ぜひ一緒に。
- 【実施】** 7月16日（日）13時半～20時半 第1回キッズサマーキャンプ @明行寺 *定員：小学生15名、お申込期限：6/30（金）
14時～ 茶話会「喫茶去・明行寺」vol.20 @明行寺 *お申込期限：7/9（日）
- 【実施】** 7月30日（日）8時～ 除草作業・お磨き @明行寺（大谷、川床、南関） *7/23（日）迄に人数をお知らせください

<住職出張予定> 6/1 お取次 @大牟田仏教会、6/11 仏前結婚式 @熊本市、7/1、2 布教使研修会 @西本願寺、

7/6、7 布教大会 @山口別院、7/9 お取次 @専宗寺、7/10 お取次 @善行寺

*この期間中は新たにお仏事をお受けすることができません。ご了承下さいませ。

< 御礼 「明行寺 第15世坊守 門徒葬」 >

去る4月25日の早朝、第十五世坊守・福山薫が往生の素懐を遂げました。お蔭様で、28日に通夜式、5月1日には門徒葬が勤まり、今は薫習院釋尼春圓として、七日参りのご縁をこの私に届けてくれています。

99年の生涯、最後のひと呼吸の瞬間は、奇しくも明行寺のご門徒方を含む下川東組の一行が「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年」の記念法要に際しご本山に団体参拝を行い、西本願寺の阿弥陀堂にてお晨朝のお勤めに遇っていたときでした。白雲社さま、ご導師の西楽寺・菊池恵規ご住職、元中通組蠟燭講や下川東組のご法中、そして日々共々に歩んでくださるご門徒のお一人おひとりが約一週間に渡ってご助力くださった娑婆世界の節目のご縁。案内状のお届け、境内清掃、幕張り、御齋、参詣者への接遇、駐車場整備、受付、式の進行、弔辞、片付けと留守番、還骨法要へのお参り等々、数え切れないご苦勞に、総出でお心を掛けてくださいました。明行寺の山門からご門徒方の手で担ぎ出されるお棺を前にご挨拶申し上げながら、今生のいのちを遂げた方が、その身を挺してお伝えくださるお法（みのり）を、互いに我一人の為と受け止めていけることは何と幸せなことだろうか、有難いことだろうか、お念仏が溢れることでした。

連日、お力添えを賜りながら、数々のあたたかいお言葉とお心遣いを賜りましたこと、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

称名



役員方によるご案内の発送



親族・法中に手作り御齋を



講中による駐車場整備・受付



門徒会・蓮華の会から供花



蓮華役員の弔辞準備



堂内に薫る花と共に



ご門徒方最後のお見送り



明行寺山門を通過して出棺

== コラム 「御霊前と御仏前に違いがあるのですか？」 ==

通夜や葬儀に参列するとき、香典の表書きに悩むことはありませんか。そのようなとき金封が入れられていた袋や、冠婚葬祭のマナーを取り扱った本を見て判断される方も多いと聞きます。これらのほとんどは、お供えする時期によって表書きに違いがあることが記されています。たとえば通夜や葬儀、初七日から七七（四十九日）法要までは「御霊前」と書き、七七日法要以後は「御仏前」と書くようにすすめています。この「御霊前」と「御仏前」の違いは、中陰（中有）という考え方によるものと思われる。中陰とは人が死んで、次の生を受けるまでの中間の存在（迷い）を意味します。この考え方により通夜の際に「御霊前」を使うのでしょ。

しかし、浄土真宗は阿弥陀如来のはたらきによって、念仏申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて、すぐに仏に成る教えです。したがって浄土真宗では「御霊前」を使用することはありません。通夜や葬儀のみならず、七七日法要以後も「御仏前」と書きます。また御仏前は「御香儀」と書いても構いません。浄土真宗の教えに基づいた表書きになるよう心がけましょう。

前田壽雄師

昭和49年北海道生まれ。浄土真宗本願寺派専念寺衆徒。通信教育部人間科学部人間科学科准教授。浄土真宗本願寺派東京仏教学院研究科講師。著書に『「ただ念仏」の教え—法然聖人から親鸞聖人へ—』『書いて味わう讃仏偈 重誓偈』『教行信証のことば—やさしい法話—』がある。明行寺住職が神奈川県の上正寺でお勤めしていたご縁で出遇った恩師。

明行寺 ホームページアドレス
<https://www.myogyoji1620.com>

▼ 明行寺LINE ▼



YouTube



Instagram